

# 2026年度 学校関係者評価委員会 議事録

## 札幌ベルエポック美容専門学校・札幌ベルエポック製菓調理専門学校

日時 2026年6月23日(火) 学校関係者評価委員会 14:00~15:30

場所 学内 202 教室(札幌市中央区北1条西9丁目3-4)

出席者 ① 学校関係者評価委員

札幌ベルエポック美容専門学校	
佐藤 明彦	バリエ札幌店店長(業界代表)(卒業生)
佐藤 直雅	(業界代表)
岩川 祥哉	札幌美容協同組合副理事長(業界団体代表) ※新任
五十嵐美樹	TB科在校生保護者(保護者代表) ※新任
札幌ベルエポック製菓調理専門学校	
鈴木 雅一	札幌洋菓子協会 専務理事(業界団体代表) ※新任
古田 義和	札幌洋菓子協会 常任理事(業界団体代表) ※新任
久保 健寛	株式会社 ボン・ヴィバン 代表取締役(業界代表)
兼崎 義明	ホテルノイシュロス小樽 総支配人 総料理長(業界代表)
下國 伸	元コートールドシェフ(業界代表)
石森 巧朗	パティスリーリーモ オーナーシェフ(業界代表)
石田 拓也	KIRORO カリナリーエキスパートエクススマネージャー(卒業生代表) ※新任
郡司 綾香	パティシエ科在校生保護者(保護者代表) ※新任
両校兼務	
宮武 一行	北海道芸術高校札幌サテライトキャンパス キャンパス長(高校代表) ※新任
塚本 澄雄	札幌市中央区町内会連合会 第四町内会長(地域代表)

② 学校関係者

札幌ベルエポック美容専門学校・札幌ベルエポック製菓調理専門学校	
池田 尚志	学校長
小川 昭久	運営本部長 評議員
山口 敦	事務局長
放生 和朗	事務部長
白山 かがり	教務部長(札幌ベルエポック美容専門学校)
澁谷 亜寿美	教務部長(札幌ベルエポック製菓調理専門学校)
大澤 慶太	美容師科学科長
大谷 奈津美	トータルビューティ科学科長
吉本 友美	ヘアメイク科学科長代理
中谷 朱里	広報センター長

太田 亜貴子(議事録)

# 議事録

司会進行: 放生事務部長

はじめに

開催にあたり、評価表の説明

本日のゴール、学校側のプレゼンテーションを聞いて評価表を提出していただく。

1, 学校長挨拶

池田学校長より、業界直結の教育の重要性、見学の理念(4つの信頼、今日も笑顔で挨拶を、地域社会との連携)を確認。本校が質の高い職業人教育を目指すためのご意見のお願い。

2, 運営本部長  
挨拶

小川本部長より、2014 年から始まった職業実践専門課程・学校関係者評価委員会についての確認。この委員会の意見が学校運営やカリキュラム改定に活かされていること、今後の意見への期待について挨拶。専門学校3つの柱の確認(①産学連携 ②FD(教授力向上) ③情報公開)

3, 事務局長挨拶

山口事務局長より学校側委員の紹介。

4, 委任状授与

学校長より新外部委員へ委嘱状授与。

5, 2025年度  
学時報告

・二校責任者挨拶と学校関係者評価委員会の説明

山口事務局長より、学校関係者評価委員会の法的位置づけ、職業実践専門課程の認定、委員会の目的と役割、評価の流れ(自己点検・自己評価→委員会→情報公開)について説明。

6, 自己点検・自己  
評価報告(山口)

・2025 年度自己点検・自己評価の概要説明

評価項目(1, 教育理念、目的、育成人材像 2, 学校運営 3, 教育活動 4, 教育成果 5, 学生支援 6, 教育環境 7, 学生募集と受け入れ 8, 財務 9, 法令の遵守 10, 社会貢献活動)について説明。滋慶学園グループのミッション(職業人教育を通じた社会貢献)、全国 82 校の運営、教育理念(実学教育・人間教育・国際教育)、信頼される学校運営の 4 つの信頼(学生保護者、高等学校、業界、地域)について説明。

## 1, 教育理念、目的、育成人材像

滋慶学園グループは、1976年の創立以来「職業人教育を通して社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、全国に82校の専門学校・教育機関を設置し、業界における真のニーズを見つめ時代と**社会の変化に応じて「即戦力」となる人材育成のため、業界に直結した専門学校**を目指しています。

・各校の教育理念・目標

▶札幌ベルエポック美容専門学校: 美容に関する知識・技術・情報力・感性・想像力・コミュニケーション力を持つクリエイティブのコーディネーター育成。

▶札幌ベルエポック製菓調理専門学校: 食に関する知識・技術・情報力・感性・想像力・コミュニケーション力を持つクリエイティブのコーディネーター育成。

・ベルエポック 2 校の人材育成方針

札幌ベルエポックは、自ら**考え、行動**できる**自己変革型人材**の育成をしています。それを目指し、事業計画書を作成。組織目的、運営方針、数値的・定性的目標、実行計画を策定し、各部署・学科の事業計画に落とし込んでいる。

## 2, 学校運営

滋慶学園は北海道に 7 校(札幌看護医療専門学校・北海道ハイテクノロジー専門学校、北海道エコ・

動物自然専門学校・札幌デザイン&テクノロジー専門学校・札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校)。学校運営のための事業計画書・収支予算書を作成し、短期的・中期的・長期的にそれぞれの部門で計画している。

### 3, 教育活動

教育指導要領や学生便覧(学生配布資料)を契約書的に位置付け、ミッション、教育目標、3つのポリシー、学年歴、シラバス、成績評価等を明記。業界直結カリキュラムで即戦力人材を育成。

#### ・美容分野の教育活動

日々の授業で国家試験対策や最新技術を学び、特別授業として、業界トレンドゼミを実施。業界との連携で就職支援や現場実習(年2回の札幌コレクション参加やヘアメイク依頼等)を展開。札幌コレクションでは昨年初めて、ヘアメイク科学生2名が鏡をもらい、ヘアメイク施術を行うことができた。また美容業界の第一線で活躍する方によるトレンドゼミを2025年も産学連携として実施。東京のカリスマ美容師はんぺんさんゼミ、メンズサロン fifth ゼミ、Dior メイクゼミ、エステダムゼミ、ネイルサロン MELIA 等、学生がキャリアデザインできるゼミになっている。

#### ・製菓調理分野の教育活動

バルズキッチン(販売実習)では授業としてメニュー開発から店舗運営までの一連の流れを学生が実践。またディスカバリープログラムとして業界で活躍するプロによる特別授業も実施。どんぐり特別授業、羽幌町と連携の道産食材プログラム、ノンアルコールカクテルのモクテルゼミなど、業界のプロとの連携を大切にし流行に敏感なプロになれる取り組み。

### 4, 教育成果

美容校白山教務部長より 個性を認める教育方針と自分のやりたい方向のバランスが難しい。学び意欲を無くする学生を一人でも無くすのを目指す。担任一人ひとりが3つの目標を意識しながら、愛情を持って接している。

目標1, 専門職を目指すマインドを持たせる(日々の関わり、授業満足度、講師と連携)

目標2, クラス作り、集団での他者との関わり

目標3, 問題解決能力

美容校国家試験、製菓衛生士試験は去年の結果を踏まえて、全員合格を目指して取り組んでいる

### 5, 学生支援 6, 教育環境

学生支援センターが学費・奨学金・資格証明書等の土台を支え、産学連携推進センターが業界との窓口・就職支援・連携カリキュラムを担当。スクールカウンセラー(SSC)も設置し、専門的な相談対応を実施。また進路アドバイザーは学生の職業選択や転校支援を行い、入学後の進路変更にも柔軟に対応できる制度を導入していることが説明された。

### 7, 学生募集と受け入れ

2027年度の想定募集定員 360名、総定員 700名(美容 510名、製菓調理 190名)、進級率 95%を目指す。希望者就職率 100%を目指す。学生募集に関しては、特に美容校進学を検討する高校生にとって札幌市内の専門学校が似通った印象で決めかねた状況であった。2026年度はリ

ブランディングで HM 科 3 年制、TB1 年制でベルだからできる学びを提案している。

## 8, 財務 9, 法令の遵守

情報公開、安心安全の確保、産業監査、会計監査、内部監査を実施。厚生労働省の指導調査や各種法改正(私立学校法、障害者差別解消法、電子情報保存法、インボイス制度、個人情報保護法等)に対応している。

## 10, 社会貢献活動

- ・地域の信頼を含めた社会貢献として、地域清掃は各校・各クラスで実施。美容校がこの校舎に来て 4 年目となったが、先日美容師科の地域清掃中の学生とお話をされた一般の方から初めてお電話でお褒めの言葉いただいた。
- ・中学生の職業体験受け入れや中学校での出前授業を行い、将来を見据えた授業を社会貢献の一環で実施。その後ベルズキッチンでの学生の様子を見学、お食事もしていただけた。
- ・札幌市東区 PTA 連合会より要請をいただき、メンバー 60 名に対し【キャリア教育・職業人教育研修】を実施。
- ・地域の方々への美容サービスとして、「出張ベルズビューティ」をトータルビューティ科学生が実施。毎回高い評価をいただき、様々な年代の方の対応力が身に着けることができている。このように様々な地域社会への貢献活動を積極的に実施している。

## 6, 質疑応答

### ・委員からの意見・質疑応答

委員から学校運営や学生支援の手厚さ、少子化下での学生数維持の理由、今後の計画や業界動向への対応について意見・質問が出された。

### ・少子化が進み、強い学校が残る時代。どのように考えているのか(製菓調理校)

→まずは学科の定員を埋めること。定員枠が集まる学科編成イノベーション。選ばれる学校→学生満足(口コミ)、学校だけで考えるのは視野が狭くなるので、業界と連携しさまざまなご意見をいただいている。

### ・滋慶学園グループとしての全国の方向性と地域性についてギャップはあるか(製菓調理校)

→ベースとなる教育の考え方は、全国共通の研修を受けている。学生の質も違いがあるので、その研修を受けて地域性でカスタマイズをしている。

### ・就職が「ゴール」になっている学生が多いと感じる。就職してからが「スタートライン」であることを授業を通して伝えて行きたいし、学校として伝えて欲しい。どれくらいの方が離職をしているのかも気になる(製菓調理校)

→毎年卒業後 1 年の卒業生を対象にアンケートを実施しているが、連絡がつかない卒業生が多く、正確な離職率がわからない状況。アンケート回答も含めて、調査の精度を高めることが課題。

### 高卒で美容師免許を取れる学校がある中で、ヘアメイク科が 3 年制のメリットは重要。どのように考えているのか(美容)

→卒業後半年で国試を受けるのが課題だった。北海道に多い、ヘアメイク科だが美容師養成施設で

就職先は美容室という学校との差別化。ヘアメイク要素を強め、業界との連携、長期的な連携を取った社会的な経験をさせることで離職対策。3年制の反応は良いので、入学後のカリキュラム作成に注力していきたい。

#### ・保護者からのご意見

学校選びは娘が自分で回って比較し、学校を決めた。自分でいろいろ回って学校を選ぶ子もいるので、良い所はそのまま残し、新しいことを取り入れて欲しい。

たくさんの学校の中から娘が選んで決めた学校。学校のサポートのおかげで希望する企業から内定をいただけたが、就職までは家庭でサポートをしたい。卒業まで後悔のないように過ごしてほしい。

#### ・その他のご意見

学校運営として新たなことにチャレンジは素晴らしい。またバルズキッチンではいろいろな材料に触れるよい機会になるのでとても良いと思う。

札幌洋菓子協会の取り組み(学生と入社 3~5 年目までのパティシエを対象とした勉強会を開催している)。是非多くの学生にこの取り組み、勉強会を知ってもらうような機会を作ってほしい。

離職のリアルな状況がわかれば、授業を担当する際に

企業・地域との連携でバルを会場として使っている。現状、企画をして学生がお手伝いの流れを、学生がもっと前段階から関わるともっと面白いことができるのでは。学生授業に関しては、モチベーションなどを加味し、後期の実習は、もっとエンターテインメント性のある実習もよいのでは考えている(製菓調理)

一人でも辞めてほしくないという思いは現場としても同じ。学校がしっかり育ててくれた美容師をサロンでも大切に育てていきたい。楽しく働ける環境づくりを時代の変化に合わせて取り組んでいる(美容)

美容業界はどこの企業も大きく変化をさせているが、大事なものは残していかないといけない。退職時に人との関わりを理由にあげる人が増加。自分にかかるハードル、自分の夢をやりきるという教育ができるといいと思う(美容)

高校1年生にHRで聞いたところ100名ほどがバルエポックの事を知っていた。ただ製菓調理の学校では何を学べるのかを知らない子が多かった。もっと高校での職業人教育に力をいれるべきと感じた(高校)

町内としてはさらにコミュニケーションをとっていきたくと考えている(地域)

#### ・今後の委員会運営・連絡事項

評価表の記入・返送(6月27日まで)。委員会は年1回開催、次回は来年6月上旬予定。卒業式・入学式の案内、教育課題編成委員会の会場・時間案内の連絡。